

海外状況整理部会の2020年度検討方向について（案）

2020年10月

1. 「海外状況整理部会」2020年度の検討方向

- ① 今回あまり取り上げていない課題（社会的障害者等を含む方向での「障害者」概念の拡張等）の整理、
- ② 各国における「働きづらさを抱える人びと」の働き方に対する、新型コロナウイルス感染症の中・長期的影響（可能な範囲で）、

2. 「欧米主要国における新型コロナウイルス感染症の中・長期的影響調査」

(1) 現在（2020年後半）の雇用・就業状況

- 一般的な雇用就業状況
- 障害者の雇用就業状況
- 障害者のうち保護就労就労者の就業状況（就業形態・内容の変化など）
- 生活困窮者・その他の働きづらさを抱える人々の雇用・就業状況
- ソーシャル・ファームでの就業状況（就業形態・内容の変化など）
- ポストコロナにおける新たな定常状態下での見込みも含め、今後の見通し

(2) 公的機関による障害者に対する就労支援（能力開発を含む。）

- 障害者に対する就労支援方策
 - ・生活困窮者・その他の働きづらさを抱える人々への対策を含む（障害者に向けた対策と分けて記述できれば、お願いしたい。）
- ポストコロナにおける新たな定常状態下での見込みも含め、今後の見通し

(3) 障害者に対する所得保障対策

- ・生活困窮者・その他の働きづらさを抱える人々への対策を分けて記述できるならお願いしたい。

(4) ポストコロナでの新たな定常状態でどのような働き方になっているのか、見通しや対策につき、議論があればご紹介頂きたい。